



平成30年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年7月11日

上場会社名 コーナン商事株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7516 URL http://www.hc-kohnan.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 疋田 直太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役・上席執行役員 (氏名) 宮永 俊一郎 TEL 072 (274) 1621
 システム部・経営企画部・財務部・
 経理部・グループ管理部担当
 四半期報告書提出予定日 平成29年7月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第1四半期の連結業績（平成29年3月1日～平成29年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第1四半期	80,117	—	5,366	—	5,067	—	3,593	—
29年2月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 30年2月期第1四半期 3,580百万円 (—%) 29年2月期第1四半期 一百万円 (—)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第1四半期	104.21	104.18
29年2月期第1四半期	—	—

(注) 当第1四半期連結会計期間末より連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期の数値及びこれに係る対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年2月期第1四半期	308,536	99,774	32.3
29年2月期	—	—	—

(参考) 自己資本 30年2月期第1四半期 99,774百万円 29年2月期 一百万円

(注) 当第1四半期連結会計期間末より連結財務諸表を作成しているため、前期の数値については記載していません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期	—	22.00	—	22.00	44.00
30年2月期	—	—	—	—	—
30年2月期(予想)	—	22.00	—	22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

29年2月期中間配当金の内訳 普通配当 21円00銭 記念配当 1円00銭

3. 平成30年2月期の連結業績予想（平成29年3月1日～平成30年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	160,960	—	10,940	—	10,000	—	5,400	—	155.79
通期	313,950	—	17,700	—	16,000	—	9,000	—	259.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

(注) 連結業績予想につきましては、当第1四半期連結会計期間末より連結財務諸表を作成しているため、対前年増減率については記載していません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー (社名)、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年2月期1Q	34,682,113株	29年2月期	34,682,113株
② 期末自己株式数	30年2月期1Q	201,758株	29年2月期	201,616株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年2月期1Q	34,480,402株	29年2月期1Q	34,680,815株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当社は、当第1四半期連結会計期間に株式取得により株式会社ビーバートザンを子会社化したことに伴い、当第1四半期連結会計期間から同社を連結の範囲に含めております。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、平成29年7月11日（火）及び7月13日（木）に機関投資家向け説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
3. 補足情報	7
商品部門別売上高明細表	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期におけるわが国経済は、一部に改善の遅れがみられるものの、緩やかな回復基調が続いております。設備投資は、製造業においては前期比で減少している一方、非製造業では増加傾向にあります。個人消費は、雇用・所得環境が改善するなかで、持ち直しに向かっております。

なお、当社店舗がドミナント展開している関西圏の景気動向については、鉱工業生産において持ち直しの動きがみられ、また、雇用情勢は着実に改善しており、このもとで個人消費は底堅く推移しております。

そのような中、当社は、2015年度にツイーターボ大作戦として掲げたテーマである、既存店の活性化と在庫の削減への取組みを推し進め、計画最終年度にあたる当期においても、当初の計画どおり堅調に推移しており、財務体質の改善は顕著なものとなっております。

店舗拡充の分野では、ホームセンターコーナン1店舗、コーナンプロ2店舗を出店した他、ホームセンターコーナン1店舗を閉店しました。

また、株式会社ビーバートザンの子会社化に伴い、ホームセンタービーバートザン7店舗、ビーバープロ4店舗を新しく加えたため、当第1四半期連結会計期間末現在の店舗数は332店舗（ホームセンターコーナン264店舗、コーナンプロ57店舗、ホームセンタービーバートザン7店舗、ビーバープロ4店舗）となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、営業収益80,117百万円、営業利益5,366百万円、経常利益5,067百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益3,593百万円となりました。

上記金額には、消費税は含まれておりません。

(注)当社は、当第1四半期連結会計期間より、四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の総資産額は308,536百万円となりました。主な資産は、有形固定資産164,649百万円、商品及び製品64,929百万円であります。

負債総額は208,761百万円であり、内訳は流動負債74,272百万円、固定負債134,488百万円であります。

純資産は99,774百万円であり、内訳は資本金17,658百万円、資本剰余金17,921百万円、利益剰余金64,359百万円等であり、自己資本比率は32.3%となりました。

(注)当社は、当第1四半期連結会計期間より、四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っておりません。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績見込みとしては、営業収益313,950百万円、営業利益17,700百万円、経常利益16,000百万円、親会社株主に帰属する当期純利益9,000百万円と見込んでおります。

上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

当第1四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	9,125
売掛金	5,483
商品及び製品	64,929
原材料及び貯蔵品	660
繰延税金資産	1,392
その他	7,050
貸倒引当金	△306
流動資産合計	88,335
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	94,988
土地	39,274
リース資産(純額)	23,114
建設仮勘定	2,803
その他(純額)	4,469
有形固定資産合計	164,649
無形固定資産	
のれん	1,064
その他	5,824
無形固定資産合計	6,889
投資その他の資産	
投資有価証券	811
差入保証金	43,543
繰延税金資産	374
その他	3,961
貸倒引当金	△29
投資その他の資産合計	48,661
固定資産合計	220,200
資産合計	308,536

(単位：百万円)

当第1四半期連結会計期間
(平成29年5月31日)

負債の部	
流動負債	
買掛金	28,150
電子記録債務	2,074
1年内返済予定の長期借入金	27,511
リース債務	1,423
未払法人税等	2,086
賞与引当金	2,104
その他	10,921
流動負債合計	74,272
固定負債	
長期借入金	81,814
リース債務	25,645
受入保証金	12,556
商品自主回収関連損失引当金	1,863
資産除去債務	6,208
その他	6,399
固定負債合計	134,488
負債合計	208,761
純資産の部	
株主資本	
資本金	17,658
資本剰余金	17,921
利益剰余金	64,359
自己株式	△418
株主資本合計	99,521
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	285
繰延ヘッジ損益	△32
その他の包括利益累計額合計	253
純資産合計	99,774
負債純資産合計	308,536

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)
売上高	76,668
売上原価	48,409
売上総利益	28,258
営業収入	3,448
販売費及び一般管理費	26,340
営業利益	5,366
営業外収益	
為替差益	81
その他	247
営業外収益合計	329
営業外費用	
支払利息	535
その他	92
営業外費用合計	628
経常利益	5,067
特別利益	
受入保証金解約益	320
その他	12
特別利益合計	333
特別損失	
減損損失	43
その他	4
特別損失合計	47
税金等調整前四半期純利益	5,353
法人税、住民税及び事業税	1,810
法人税等調整額	△49
法人税等合計	1,760
四半期純利益	3,593
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,593

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年5月31日)
四半期純利益	3,593
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△0
繰延ヘッジ損益	△12
その他の包括利益合計	△12
四半期包括利益	3,580
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	3,580
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

商品部門別売上高明細表

商品部門別	金額(百万円)	前年同期比(%)
ホームインプロブメント (DIY用品)	31,720	—
ハウスキーピング(家庭用品)	29,491	—
ペット・レジャー (ペット・レジャー用品)	13,984	—
その他	1,472	—
合計	76,668	—

(注) 1. 商品部門別の各構成内容は、次のとおりであります。

- (1) ホームインプロブメント (木材、建材、工具、建築金物、塗料・作業用品、園芸用品、園芸植物、資材、エクステリア、水道、住設機器、リフォーム)
- (2) ハウスキーピング (ダイニング用品、インテリア、電材・照明、日用品、収納用品、薬品、履物・衣料、家庭雑貨品、家電、介護用品、フード、酒類)
- (3) ペット・レジャー (カー用品、ペット用品、文具・事務用品、サイクル・レジャー用品)
- (4) その他 (バラエティグッズ、書籍、自動販売機、灯油)

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 当社は、当第1四半期連結会計期間より、四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間比較分析は行っておりません。